

事例の区分	
事業区分	砂防・治山・森林整備事業
配慮概要	生態系と景観に配慮した砂防事業

事業の概要	
事業名	砂防流路工工事
実施場所	沼津河川国道事務所管内
事業主体	中部地方整備局沼津河川国道事務所（担当課：工務第二課）
実施期間	-
全体事業費	-
事業規模等	L=600m
事業概要	魚道の設置や湾曲部の導入、自然の岩盤・巨石を利用など、生態系及び景観に配慮し、流路工工事を行ったものである。

環境配慮の内容	
魚道の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 落差は現況以上の高さにならないことを基本とし、床固区間等やむを得ない箇所については魚道を設ける。</li> </ul>
自然の岩盤・巨石を利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 床固工の構造は、自然の巨石を埋め込み巨石で落差を形成し、表面を自然石で覆いコンクリートをむきだしにしない。</li> </ul>
湾曲部の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 流路工は、淵が形成できるよう湾曲部を設ける。</li> </ul>

環境配慮の結果	
魚道を設けたため、流路工内でも魚類を確認できる。	
巨石等現地玉石を活用したため、従来のコンクリート張りのような違和感がない。	
湾曲部を設けたことにより淵・砂溜りが形成され元の環境に近い状態となった。	

今後の留意事項等	
通常の型枠・コンクリート打設に比べ、巨石の据付等で時間がかかりコンクリート打設までの作業効率が悪く、作業効率等の関係から通常よりもコストが割高となる。	

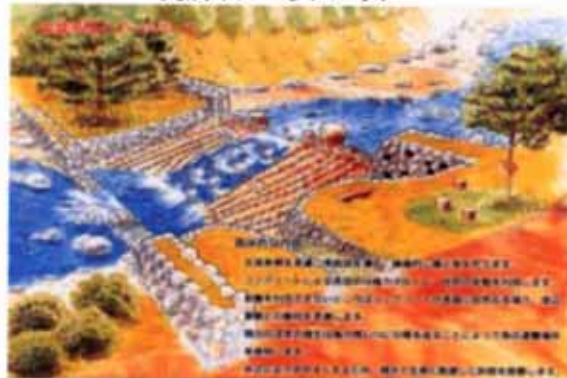
○施工前



○施工後



—完成イメージパース—



出典

中部地方整備局HP